

91%が有機汚濁環境基準達成（平成22年一級河川調査） 国土交通省



国土交通省は、平成22年の全国一級河川109水系における水質状況（BOD、COD、健康項目、ダイオキシン類）をとりまとめ、公表しました。

このうち生活環境の保全に関する環境基準項目のうち、有機汚濁の代表的な指標でもあるBODまたはCODの環境基準値を満足している地点の割合は91%（1,005地点中918地点）となり、2年連続で過去最高となっています。

なお、平成22年にBODまたはCOD値が環境基準を満足している地点の割合について、地点の種類別に見ると、河川のみでは97%（907地点中882地点）、湖沼のみでは36%（96地点中35地点）といった結果でした。

人の健康の保護に関する環境基準（健康項目）については、環境基準達成率99%となり、ほとんどの地点で達成となっています。

環境基準の超過がみられたのは、鉛、砒素、総水銀、ふっ素及びほう素の5項目であり、いずれも自然由来が原因でした。

ダイオキシン類については、調査を開始した平成11年度以降、水質については、ほとんどの地点で環境基準を満足しており、平成22年度は、約98%（212地点中207地点）が環境基準を満足しています。また、底質については、全ての地点で環境基準を満足していました。

当社では環境水の他にも排水、下水、飲料水等、様々な種類の水質分析についての長年の経験と実績があります。お気軽にご相談ください。

資料 2011年7月28日付 国土交通省 報道発表資料
2011年7月28日付 EIC ネット

生活環境箇所 大塚卓也

The Knights of Environmental Science
内藤環境管理株式会社

〒336-0015 さいたま市南区大字太田窪2051番地2
TEL.048-887-2590 FAX.048-886-2817
URL: www.knights.co.jp

放射性物質の測定を開始しました！

福島第一原発事故を受け、高まる需要にお応えし、放射性物質の測定を開始しました。サーベイメータによる工業製品の表面汚染や、水・食品などの放射能測定、さらに8月末からはゲルマニウム半導体検出器を用いた核種ごとの精密測定も開始しています。

お問い合わせはこちら